

山口市議会報告



発行責任者

山口市議会議員 竹中一郎

<http://takenakaichiro.com/>

〒753-0251 山口市大内千坊2丁目16-5

自家用車がなくても

気軽に移動できるまちにしたい!



やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」ホームページから引用

山口市には公共交通が不便で、自家用車がないと移動が難しいという課題があります。そうした課題を、先端技術を使って解決しようと、山口県と連携してMaaSシステムの構築を進めようとしています。

例えば、MaaS用WEBアプリ「ぶらやま」の開発によって、様々なお店の割引特典を受けられ

るゆけむり手形とセットになった定額タクシーや移動手段の紹介や検索ができるようなコンテンツも盛り込まれています。

単に様々な移動手段を一元的に検索できるアプリをつくる、というだけではあまり意味がなく、交通事業者が役割を分担し、垣根を越えて連携できる仕組みづくり、そして人の移動を促進し、地域の経済が活性化するような仕組みづくりのためにMaaSを活用してこそ意味があると考えています。

MaaS(マース)とは? ICT(情報通信技術)を活用し、バスや電車、タクシーなど、自家用車以外のすべての交通手段による移動を、ひとつのサービスで完結させることを指します。

市民が安心して過ごせる 認知症介護支援策を!

高齢社会の進展等によって今後、認知症の高齢者が増えていくことが予測されています。こうした状況になっても認知症の方と介護される方が笑顔で安心して過ごせる対策はとても重要です。

現在、高齢者の鞆や杖にGPS端末を取り付けて、認知症の方が万が一方向不明になったときに早期発見ができるよう、GPS端末機器の購入助成に新たに取り組むこととして、令和3年度に対象者や補助方法を市で検討していく予定です。他の認知症対策も含め、認知症の方や家族の方が元気に暮らし続けていけるよう、引き続き意見を届けていきます。



オレンジリングバッジ
認知症サポーター養成講座受講者にオレンジリングをお渡しします。令和3年度から、リングからパッチに変更します。



ピンバッジ(ロバ)
オレンジサポーターとして活動する人やキャラバンメイトにお渡しします。

令和2年 第5回定例会での質問と答弁

保育所の待機児童ゼロに向けた取り組みについて

問 今後のさらなる保育サービスのニーズの高まりが予測されるなかで、待機児童の解消に向けた現状の取り組みについて伺う。

答 定員の弾力化による受け入れを実施し、施設面、人員面の条件が整う施設については基準の範囲内で定員を超えた児童の受け入れに協力いただいている。

問 子どもの推計人口が減少傾向にある中で、保育の需要量と供給量のバランスを考慮した保育提供体制の確保が必要となると考えるが、どのように対応されるのか。

答 持続的安定的な施設運営に資するため、配置バランスや定員バランスを考慮し、公立幼稚園、保育園の再編統合による認定こども園化を検討する。

投票率向上に向けた取り組みについて

問 出前授業の今年度の実施内容及び生徒の反応について伺う。

答 今年度の出前授業は3校で実施しており、そのうち山口大学教育学部附属山口中学校での実施内容については、2年生・3年生は講義形式とし、1年生に関しては模擬投票を併せて実施している。反応は、学年ごとに異なっており、アンケート結果を見ると「選挙権があれば投票に行くか?」との問いに対して、1年生からは8割が投票に行くとの回答を得ている。2・3年生は、今回は講義(50分)のみの内容で、受講者の興味をひく取り組みとして、「鬼滅の刃」をスライドに取り込んだりした結果、「楽しく授業を受けられた」、「動画やクイズがわかりやすく勉強になった」との回答を得ている。アンケートの内容を見ると「今後、選挙があれば投票に行くか?」との問いに対して、2年生は75%、3年生は90%以上が投票に行くとの回答を得ている。

秋の火災予防運動に伴う防火行事について

問 この度の火災予防運動の期間中には、複数の幼稚園や保育園でイベントが行われたが、効果はどうだったかという点を伺う。

答 今年は、多くの方を対象とした火災予防行事の開催を見合わせる中で、コロナ禍における工夫として、市内7か所の幼稚園・保育園に管轄の消防署がそれぞれ出向くかたちで開催することとした。イベントでは、「消防車との綱引き対決」や「消防士体験」、「ぬりえ展示」など通じて、園児一人ひとりに火災予防の大切さを呼びかけることができ、個別開催ならではの効果的な取組になったと考えている。

避難行動要支援者同意名簿作成の進捗状況及び今後の進め方について

問 令和2年8月に「山口市災害時要配慮者避難支援全体計画」を策定し、「避難行動要支援者同意名簿」を作成するため、対象となる方へ8月31日に「名簿情報提供の同意について」の文書を送付されたと伺っているが、現在の同意状況及び今後の進め方について伺う。

答 令和2年11月末現在、発送数3,441名に対し、回収数が2,342名で、回収率は68.1%。そのうち、名簿情報の提供について同意された方が1,186名、自分や家族の支援で避難される方や同意されない方などが1,156名となっており、未回答となっている1,099名の方に対しては、再度、意向確認の通知を発送する予定としている。今後、同意名簿を地域へ情報提供することにより、避難訓練や見守り活動等への活用、さらに、「避難マイプラン(個別計画)」の作成も進めていくこととしており、各地域と具体的な取組内容を協議し、令和3年6月以降、取組体制が整った地域から同意名簿の提供を開始したいと考えている。